



# 大阪市立 玉津中学校

所在地 〒537-0023 東成区玉津1-12-36  
電話 06-6971-4438  
校長名 厚見 誠一  
学級数 16学級 (内 特別支援学級6)  
生徒数 344人 **標準服** 有



## 学校概要

本校は、東成第三中学校として昭和22年に創立されました。東成区では最も西側にある中学校で、JR環状線玉造駅から東へ徒歩7分の利便性の良い位置にある都会の学校です。「希望に起き 努力に生き 感謝で眠る」と校訓にあるように、生徒たちには未来に希望を抱き日々真面目に努力を続けるとともに、周りの人に感謝できる人に育ってほしいと願い、教職員一同、力を合わせ取り組んでいます。

## 「運営に関する計画」の概要

### 【安全・安心な教育の推進】

- 安全で安心できる学校  
いじめや暴力行為等の問題行動が発生しないように、子どもの規範意識を高め、生徒が自他の尊厳を認め合い、好ましい人間関係を確立する取組を進める。
- 道徳心・社会性の育成  
倫理や規範意識、社会性をはぐくむ教育を進める。また道徳教育、キャリア教育を充実させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 生徒一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組  
生徒一人ひとりが学ぶことに興味・関心を持ち、見通しを持って、粘り強く取り組むなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。
- 国際社会において生き抜く力の育成  
生徒の可能性を広げるツールとなる英語やICTの活用など、コミュニケーションの力を身につけさせる。
- 健康や体力を保持増強する力の育成  
生徒が心身ともに健康で活力のある生活を送るために、主体的に運動する習慣を身につけさせる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 地域に開かれた学校づくり  
学校情報を保護者や地域に提供するとともに、「運営に関する計画」の策定について、学校協議会での学校関係者の意向を反映させる。
- 生涯学習の支援  
学校図書館の開館や館内環境の整備を行う。また、学校元氣アップ地域本部事業と連携し、放課後やテスト前の自主学習支援を行う。

### ★令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（種目別平均値）

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	27.97	27.82	39.45	51.67	83.39	8.22	190.37	17.31	39.45
女子	24.00	22.30	41.09	44.21	55.28	9.17	170.26	11.94	45.79

## 学力の状況と学力向上に向けた取り組み

本校の学力の状況は、令和5年度の全国学力・学習状況調査(3年生対象)では、国語・数学・英語の3教科とも大阪市平均を上回った。その後に実施された大阪府中学生チャレンジテスト(1年生は3教科)においても、各学年とも大阪市平均を上回る成績(3年生対府比1.06、2年生対府比1.06、1年生対府比1.15)を残している。

現在は、規範意識も高く、落ち着いた状況で教育活動を実施することができている。今後もその状況を継続しつつ、個に応じたきめ細かい授業を行い、基礎基本の定着を図るとともに、言語力の一層の向上を図っていく。また、放課後やテスト前・長期休業中に自主学習会を実施し、学習への興味・関心を高めるとともに、家庭学習の習慣化につなげていく。

### ★令和5年度 全国学力・学習状況調査結果 (平均正答率)

国語	数学	英語
70	54	48

## 体力の状況と体力向上に向けた取り組み

令和4年度は、男子については、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」の4種目で、女子については「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」の5種目で大阪市平均、全国平均を上回ることができた。体力合計点においては、男子が大阪市平均を、女子が大阪市平均・全国平均とも上回ることができた。

令和5年度は、体力合計点については男子、女子とも大阪市平均・全国平均を下回っているが、男子については、「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」の3種目で、女子については「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」の4種目で大阪市平均・全国平均を上回ることができた。今後も運動時間の継続的な改善を目指し、毎時間の体育の授業で、腕立て・腹筋・背筋・馬跳びなどの補強運動に加え、種目に応じた運動を取り入れて、基礎体力の向上を図っていくとともに、生徒に目標や課題意識を持って取り組ませている。

なお「全国体力・運動能力および運動習慣等調査」の生徒アンケートでは、「あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか。」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合は高く、運動習慣の重要性を意識している生徒は多い。保健体育の授業や部活動の取組に一定の成果が見られる。

# 一人一人の生徒が自己肯定感を得られる教育活動を推進し、 楽しいと思える学校を実現する

## 育てたい生徒像

1. 自他を尊重できる生徒
2. 自分自身を積極的に表現できる生徒
3. 自己研鑽に主体的に取り組む生徒

## 学力の向上

- 全学年で朝の読書活動を行い、読解力を高めるとともに、落ち着いて授業に臨ませる。
- 習熟度別少人数指導やT・T、分割授業など、個に応じた学習形態を取り入れている。
- ICTなどを活用し、授業への興味・関心・意欲が高まる工夫を行っている。

## 道徳心・社会性の育成

- 朝のあいさつを励行し、生徒や教職員による清掃活動を行っている。
- 登校指導を行い、遅刻者数を減らすとともに、服装指導等も行っている。

## 健康・体力の保持

- 朝食を食べるように指導し、健康管理ができる生徒を育てる。
- 体育授業や放課後の部活動において体力の向上を図っている。

## 体育大会

昨年度の体育大会では、3年生の保護者を対象に参観してもらい、子どもたちのがんばる姿を見てもらっている。午前の部では「50m走」や「50mハードル」「1000m走」などの個人種目を中心に、午後の部では学年種目やリレ一種目をおこなった。「部活動対抗リレー」では、各部の代表が力走し、日頃の成果を見せている。

## 文化祭

昨年度、ようやく新型コロナウイルスの影響を受けない、従来の形での文化祭を開催することができた。舞台発表では、各学年の劇、ウリマダンの演舞・演奏、吹奏楽部の演奏。展示発表では各教科や学年、美術部、家庭科部の作品、各クラスの学級旗の展示がおこなわれた。

## 修学旅行

昨年度は、6月25日から2泊3日の行程で、広島・四国方面で実施している。1日目は、新幹線で広島へ向かい、平和記念資料館見学を含めた市内班別自主活動をおこなった。夕方、宿泊施設の休暇村瀬戸内東予に入り、夜はレクリエーションで大いに盛り上がりを見せている。2日目は、午前中に吉野川でラフティングを体験し、午後から「その郷」に入村した。3日目の午前中いっぱい、民泊先で家業体験をして、午後は金毘羅さんで散策したあと、帰路につき、充実した修学旅行となった。



文化祭 舞台発表

